

杉田悠真が2位表彰台を獲得！

2期生の杉田悠真（16）がF110 CUP Round7-8にAKILAND RACINGからエントリーしました。F110 CUPは旧型のF4マシンを使用し、プロを目指す若手ドライバーたちがしのぎを削り合うシリーズです。杉田は7月のもてぎ大会でこのクラスへステップアップを果たし3位表彰台を獲得。今大会はさらに上位を目指します。開催サーキットは岡山国際サーキットで杉田にとっては、ジュニアドライブのトレーニングで慣れ親しんだコースです。

レースウィーク初日の金曜日がスタートしました。この日は30分×2本のフリープラクティスが行われました。杉田は予想通り、走り始めから好タイムを記録していきまし。この大会ではGTカーのレースも同時に行われ、路面コンディションが刻々と変化していく状況でした。グリップレベルが上がっていく中、上手くアジャストでき初日は2番手タイムを記録し幸先の良い初日となりました。

レースウィーク2日目。この日はレース1の予選と決勝が行われます。朝の予選がスタートしました。このセッションのベストタイムがレース1のスタート順位。セカンドタイムが明日のレース2でのスタート順となるため、良いラップタイムを2周分記録することが重要になります。途中赤旗があり、残り時間が少なくなる中、杉田のアタックラップが始まりました。1周分のタイムを記録し、2周目のタイムアタックを試みるも自らのミスでスピンしてしまい、レース1が4番手スタート。レース2では6番手スタートと中国に沈みました。

午後の決勝レース1が始まります。4番手スタートから1台を交わし3番手に浮上すると、前に行く選手と2番手争いを繰り上げます。ラスト2周のところで2番手にポジションを上げ、2位表彰台を獲得しました。

レースウィーク最終日となる日曜日。この日は決勝レース2が行われます。杉田は6番手スタートから追い上げを狙います。スタートでは大きく順位を落とし、9番手まで後退してしまいました。ここから1台また1台とポジションを取り戻していきます。杉田のレースペースは良くファステストラップを記録し、トップ集団に追いついていきました。しかしスタートのミスが響き、4位までポジションを上げたところでチェッカーとなりました。ペースがあっただけにスタートのミスが悔やまれる結果となりました。

